

高崎ユネスコ協会会長賞

今は平和なのか

高崎市立国府小学校 六年 中島 美穂

「もしかすると外に出かけられなくなるかもしれないよ。」と母に言われたのは、四年生の二月のことでした。その時私は、「本当にそんなことになるのかな？」と思っていました。その数日後に、突然休校になってしまいました。自由に外に出かけることも、友達と遊ぶことも、学校に行くという当たり前のこともできなくなってしまい、私はとてもショックを受けて毎日不安でいっぱいでした。

あの日から一年半。その間にたくさんのニュースを見たり聞いたりして、今は平和なのか、今日は平和なのかと、私は時々考えるようになりました。

記憶に残っているニュースが二つあります。

一つ目は、医療関係者の子どもが保育園で預かってもらえないというものです。病院にはコロナ感染者がいるから、その手当てをしている看護師さんやお医者さんの子どもは保育園で預かりませんと言われてしまっているというものです。私は、なんでそんなことになってしまうのだらうと思いました。看護師さんやお医者さんがいるから病院が成り立っているのに、子どもを預けることができないためにその人が仕事を休まなければならない、病院が回っていかなくなり、人を助けることができなくなるのは、悲しいと思いました。

二つ目のニュースは、クラスターが発生してしまった高校に、「日本から出て行け」「学校をつぶしてくれ」などのひぼう中傷がたくさんきているというものです。感染対策をしていたけれども感染者が出てしまったことに対して、大人が罪のない人を責めるなんてひどいと思いました。ネットに書きこんでいる人は自分が責められたらどういう気持ちになるのか考えていないと思いました。

どちらのニュースも相手の気持ちを考えていない思いやりのない行動だと思います。

今の私は、家から出る時には、必ずマスクをし、学校以外の日はあまり外出しないことが当たり前となっていることも平和ではないと思っていますが、ニュースであったように、罪のない人を責めたり、差別をしたりすることも平和な社会ではないと感じています。

私が考える平和な社会とは、みんなが、毎日笑顔でいられて、幸せを感じられるものではないかと思っています。そのような社会にするためには、一人一人が思いやりの心を持ち、おたがいの立場を尊重することで、平和な社会になると考えます。

今の私にできることは、相手の気持ちを考え、相手の立場に立って行動し、人の役に立つことをすることです。去年私は、JRC委員会で密調査を行い、その結果をポスターにし、感染リスクを減らす活動を行いました。また、誰かのために役立つかと考え、ヘアドネーションも続けています。みんなが笑顔でいられるように、自分にできることは何かを考え、今後も行動していきたいです。